

あこう(のたより) 花

3月 

発行責任者
原田尚之

【校長室より】

『石田城の石垣』

3月1日に行われた卒業式でお話いたしました内容の一部を転載することで、私の思いを保護者の皆様にお伝えしたいと思います。

五島高校は石田城本丸跡にあります。石田城の石垣を改めて見ると、大きな石、小さな石、丸い石、四角い石、形がいびつな石など、様々な石があり、全く同じ石は一つもありません。そして、そのような石が支え合って、美しく立派な石垣を形成しています。一つ一つが大切な石であり、一つ一つが必要な石なのです。

学校も同じです。いつも笑顔が絶えない人、掃除を一生懸命する人、勉強が得意な人、運動能力が高い人、歌が上手な人、絵が上手な人、全く同じ人は一人もいません。そして、そのような個性を持った生徒が支え合って五島高校が成り立っています。一人一人が五島高校にとって大切な生徒なのです。

このことは社会に入っても同じです。人として完璧な人はいませんが、様々な個性を持った人々はその個性を活かし、石田城の石垣のように、社会を支え合っているのです。皆さん一人一人が、社会にとって大切な人であり、皆さん一人一人の個性を社会は必要としているのです。

皆さんは、これから長い人生を歩んでいくわけですが、生きるということは、自分が持っている個性を最大限に引き出し、お互い支え合いながら、人々や社会に貢献することだと思います。すなわち、自分らしい美しい花（それは、梅は梅、桜は桜、皆さん一人一人の花）を咲かせることだと私は考えています。「梅は厳しい寒さを乗り越えてはじめて清らかな香りを放つ」と言われるように、人も苦勞、逆境を乗り越えて成長し、人間としての輝きを放つのです。苦境に負けないタフな精神を身につけ、一人一人が持っている素晴らしい個性を磨き、仲間と支え合って、自分の人生を輝かせてほしいと願っています。（略）

皆さんは、この五高で、学力や体力の向上を図るとともに、豊かな人間性を育み、何事にも意欲あふれる活動を行いました。学習面での日々の精進はもちろん、部活動においても目標達成に向けて、互いに励まし合いながら努力を重ねてきました。まさしく、脳に汗をかき、体に汗をかき、そして、心に汗をかいた三年間であり、石田城の石垣のように仲間と支え合いながら、個性を磨いた三年間でした。皆さん一人一人にとって、五高生として過ごした日々は、生涯忘れることのできない大切な青春の一ページであるはずですが、そういう皆さんと、この五高で同じ時間を共有できたことを、教職員一同、心から嬉しく思います。

以上のお話をさせて頂きました。

さて、3月は別れの月です。本校でも17名（定時制3名を含む）の先生方とお別れすることになりました。優秀な17名の先生方の穴を埋めるのは大変ですが、4月から転入される先生方と共に、石田城の石垣のように支え合いながら、来年度も、教職員一同、五島高校の生徒の指導に邁進いたします。今後ともよろしくお願いたします。

五島の魅力を再発見！～バラモンプラン～

2月13日（月）本校メインアリーナにて、模擬五島市長選挙の政策発表会が行われました。これは、第2学年の総合的な学習の時間「バラモンプラン」の取り組みで、五島の魅力を再発見するということをテーマにしています。地域の課題を発見し、その解決策をマニフェストとして提案し、生徒1・2年生を有権者として投票してもらい、一番良い提案をした政党の党首はこの模擬選挙での五島市長になるという内容です。今回提案されたマニフェストには「五島ワインに合う『五島ピザ』の開発」、「農林水産や海洋資源を学ぶ大学、研究所の新設」、「観光アプリの開発」などの振興策が出されました。14日、15日、16日にメモリアルホールで投票が行われ、20日（月）に長崎県と五島市の選挙管理委員会の立ち会いのもと、開票が行われました。この取り組みは、地域の魅力を探りつつ、選挙への意識の向上を期待したものです。県の主権者教育の指定校になっている本校は政治的教養教育と地域創生を融合した教育を行っていきたいと考えています。



五島のミライをソウゾウしてみよう

3月21日（火）に、長崎大学経済学部みらい創造センター、フューチャーセッションズさんと取り組んできた『イノベーション・ファシリテーター養成講座』のワークショップ「五島ミライシティ計画～五島のミライをソウゾウしてみよう～」が本校1年生の総合的な学習の時間「バラモンプラン」で行われました。本校生徒、一般参加者を含め180名以上の人でワークショップが行われました。テーマは『2025年 戻って来たくなる五島とは？そんな五島を実現するために自分たちが今できること』ということで、最終的には、個人レベルまで何ができるかを考える機会になりました。何より、地域の方や地域おこし協力隊など多くの大人の人とワークショップができたことが、生徒にとって良い経験と刺激になったようでした。



母校と郷土の発展のために

2月28日（月）に平成28年度卒業生の同窓会入会式を実施しました。式には、吉野栄一石城会会長・浜辺雪枝副会長・的野房子副会長に出席していただきました。最初に吉野会長から入会に際してのあいさつがあり、島を離れ新たな生活を始める後輩たちへ、サポーター募金（遠征費として各部3万円の補助金）の活動や母校と故郷（五島）の発展のため協力してほしいという願いがありました。卒業生を代表して小田裕二君が吉野会長を前に、「母校と郷土の発展に尽力していきます」と入会のことばを述べました。最後に、原田校長より同窓会入会を祝して、同窓会活動に対する熱い思いを述べられました。

会員となった卒業生の皆様には、進学・就職先で最寄りの支部（東京6月、長崎7月、大阪2月）や帰省した際に五島での懇親会（8月中旬に毎年開催）へ積極的に出席し、同窓会の目的である会員の相互融和を図ってほしいと切に願っています。※28年度卒業生の学年幹事は竹山和摩君と森田里美さんに決定！

「ペダルをこぐのは誰？」 第1学年主任 原口 正志

幼少期の記憶。補助輪がはずれ、親から支えてもらっていた自転車のペダルをふらつきながら一人でこぎ出すとき。不安・興奮・歓喜。第1学年で様々な方々に支えられて基礎基本を徹底した君たちは、ステップの段階に入ります。「やらされている」という感情から「計画・自律」という理性に重点を変える必要があります。学習・行事・部活動などのあらゆる活動で、人が見ている見えていないに関係なく努力できる人間に成長してください。1年生の手本、3年生を支える中堅学年、その努力を私たちも支えます。

「春になれば……」 第2学年主任 吉田 真也

季節は、春……ですね。私は、春が嫌いです。この季節は、さまざまな面で変化が起こる季節であり、変化を好まない私にとっては居心地の悪い季節です。

でも、今年はちょっとだけ違います。4月になれば「こうなるはずだ」という期待もありますし、「こんなことをしたい」という希望もあるからです。実際はうまくいかないこともあるでしょうが、新3年生も新年度のスタートから何かを始めたり何かを変えてみたりしてはどうでしょうか。だって、あなたの生活は、もっと良くなるはずでしょ？

見せろ！クラスの団結力！！

去る3月14日（火）に平成28年度第2回校内競技大会が行われました。クラス別でバスケットボール、サッカー、ソフトボールなど男女それぞれ3種目で争いました。現クラスで行う最後の校内行事であり、応援と選手が一体となった白熱した試合が繰り広げられていました。大会の運営では、生徒会執行部のメンバーをはじめ、該当部活動の生徒に試合の審判や補助員等、多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。なお、大会の結果は次の通りです。



種目	男子			女子		
	バスケットボール	サッカー	ソフトボール	バスケットボール	ソフトボール	卓球
優勝	2-4	2-5	1-4	1-1	2-2	2-5
2位	2-6	2-4	2-4	2-7	2-5	教員

離任される先生方 お世話になりました 新任地での活躍をお祈りします

名前	教科等	異動先
阿比留憲一先生	英語	大村高校
村田 誠先生	数学	長崎北高校
久保田幸成先生	国語	長崎県教育庁
中村 美加先生	化学	長崎商業高校
西村 章子先生	看護	諫早東特別支援学校
本村かおり先生	世界史	中五島高校
猿渡 雄介先生	数学	長崎東高校

名前	教科等	異動先
竹添 公彦先生	数学	佐世保西高校
松本 優美先生	事務	長崎県教育庁
川内 将浩先生	保体	鹿町工業高校
山村なつみ先生	国語	島原高校
中島 睦美先生	家庭	宇久高校
楠本 信秀先生	数学	退職
田尾 和泉先生	事務	退職